

地域を豊かに 誰もが安心して暮らせるまちへ

人と人とのつながりが薄れ、さまざまな
一方で、誰かの役に立ちたいと思っている人もいます。
支え合い、誰もが安心して暮らせる

困りごとを抱えて孤立している人が増えています。
コープデリは、地域に暮らす人と人とのつながりをつくり、
豊かな地域づくりを目指しています。

安心して暮らせる地域づくりのために

目標 1

くらしと地域を支える生活インフラとしての機能を
果たし続けられるよう、事業・商品・サービスの改善を続けます。

例えば、
こんな取り組みを
進めています

商品やサービスでくらしと地域を支えています



お店のない地域で買い物に不自由している高齢者などのくらしを支えるため、移動店舗を運行しています[※]。利用者からは「便利に買い物ができるだけでなく、近所の人たちとのコミュニケーションの場になる」「家に引きこもりがちな高齢者が、外に出るきっかけになる」「担当者の親切な案内や袋詰めがありがたい」などの声をいただいています。

※コープみらい・いばらきコープ・とちぎコープ・コープぐんま・コープながのの一部地域で運行

誰もが利用しやすい商品の品ぞろえを進めています

忙しい子育て世帯を応援する乳幼児向け食品シリーズ「きらきらステップ」「きらきらキッズ」や、食物アレルギーがある人もない人もみんなで一緒に食べられる「7品目を使わない」シリーズ、塩分や糖質など減らしたい栄養素を減らしながらおいしく健康維持をサポートする食品など、誰もが利用しやすい商品の開発・品ぞろえを進めています。



男性、女性、子ども、お年寄り、身体などに不自由を抱える方……。私たちのまちには、さまざまな人が暮らしています。その中で、「高齢になり買い物に行きにくくなった」「周りに子育てしている人がおらず、孤独でつらい」「コロナ禍で収入が減り、生活が苦しくなった」など、困っている人が誰にも相談できずに住みにくさ、生きづらさを抱えている場合があります。また地震や水害など、ひとたび自然災害が発生すると、人的、経済的、社会的に大きな影響が生まれてしまいます。

生協は、「安心できる商品を利用したい」「より豊かに生活したい」といった組合員のくらしの中に、あるさまざまな願いを、互いに助け合いながら実現するための組織です。コープデリグループは、ビジョン2025「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」を掲げ、地域をよ

住み続けられる
まちづくりを



心して暮らせること。これを目指すのが世界共通の目標である「SDGs（持続可能な開発目標）」目標11「住み続けられるまちづくり」です。たくさんの方が快適に、そして安全に暮らせるまちづくりを目指しています。そのため、一人ひとりが自分の住むまちに関心を持ち、どうしたらもっと住みやすくなるか、考えることが大切です。

コープデリは、
「地域を豊かに」
することを
目指しています

コープデリグループのSDGs重点課題

- I 持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます
- II 誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに貢献します
- III 1人ひとりの人権・多様性が尊重され、誰もが安心して働ける職場づくりを進めます
- IV 再生可能エネルギーの利用・普及を進め、地球温暖化対策を進めます
- V 世界から飢餓や貧困をなくし、世界平和を実現できる取り組みを進めます

り豊かにするための活動に積極的に取り組んでいきます。さらに昨年、SDGsの達成に貢献するために、「コープデリグループのSDGs重点課題」を定めました。その一つが「誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに貢献します」。地域に暮らす人と人とのつながりをつくり、さまざまな立場の人たちが互いに支え合えるように、誰もが安心して暮らせる豊かな地域社会をつくりたい。それを具体的に進めるために、3つの目標を立て、取り組んでいます。



安心して暮らせる地域づくりのために

目標 2

自治体や地域住民・諸団体と連携して、地域の人々が 協力し、支え合える仕組みを強める取り組みを進めます。

例えば、
こんな取り組みを
進めています

人と人とのつながり・地域の居場所をつくっています

さまざまな立場の人たちが互いに支え合えるあたたかな地域社会を目指して、人と人とのつながりづくり、地域の組合員・住民が気軽に参加・交流できる居場所づくりを進めています。コロナ禍で実際に集まって交流することが難しくなりましたが、オンラインでの企画など新しい取り組みにチャレンジしています。



オンラインで開催したコープみらいの「みらいひろば」



組合員どうしの助け合いを進めています

高齢や子育てなどくらしの中のちょっとした困りごとで「誰かの手を借りたい」と思ったとき、組合員による有償のボランティアによって助け合う活動を進めています。「お互いさま」の気持ちを大切に、人と人をつなぎ、誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちづくりを目指しています。

※コープみらい・コープぐんま「くらしのたすけあいの会」、いばらきコープ・コープデリにいがた「くらしの助け合いの会」、とちぎコープ「暮らしのたすけあいの会」、コープながの「くらしサポート活動まごころ」の名称で活動しています。一部エリアのみで活動する場合があります

高校生への奨学金給付事業に取り組んでいます

ひとり親家庭などの高校生・高等専門学校生に、返済不要の奨学金を給付する事業を行っています[※]。奨学金の原資は組合員からの募金。経済的な事情で子どもたちが夢をあきらめることがないよう、助け合いの輪が広がっています。奨学生からは「奨学金のおかげで塾の夏期講習に参加でき、大学に合格することができました」など喜びの声が寄せられています。

※コープみらい・いばらきコープで実施しています

奨学金給付事業

給付（返済不要）
毎月1万円、3年間

募金
毎月1口100円～



高校生・高等専門学校生
（組合員のひとり親世帯などの子ども）



奨学金応援サポーター
（組合員）

フードドライブ活動に協力しています

家庭で眠っている食品などを店舗やイベント開催時に持ち寄っていただき、フードバンクや社会福祉協議会などを通じて、生活困窮者や子ども食堂、児童養護施設など支援が必要な方にお届けする「フードドライブ」に取り組んでいます。また、宅配や店舗の流通段階でお届けできなかった商品も寄贈しています。



地域の
フードバンクなど
68団体と連携

2021年度フードバンクへの寄贈量

●組合員から持ち寄っていただいたもの

コープみらい	16.7トン	コープぐんま	1.1トン
いばらきコープ	3.0トン	コープながの	1.0トン
とちぎコープ	5.0トン	コープデリにいがた ^{※1}	0.2トン
計 ^{※2}		27.1トン	

※1 旧コープにいがた、旧コープクルコ実績

※2 表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の合計と異なります

●流通段階で組合員にお届けできなくなり寄贈したもの

お米	流通過程で破損したものなど	11.1トン
農産物	不良品発生時に交換するための予備として入荷したもの	25.9トン
紙おむつ	サイズ違いなどで組合員から返品されたもの	7,698パック

自治体と見守り協定を結んでいます



コープデリグループの各会員生協では、エリア内の8都県、287市区町村と「高齢者等の見守り協定」を締結し、地域の見守り活動に協力・連携しています。宅配で前週お届けした商品がそのままになっている、店舗で認知症とおぼしき方を発見したなど、職員が地域住民の異変に気付いた場合、事前に取り決めた行政などの連絡先に連絡・通報を行っています。



安心して暮らせる地域づくりのために

目標 3

天災などによる被災地の復興支援活動に取り組みます。災害に備え、防災・減災の取り組みや行政や地域の諸団体との連携を進めます。

例えば、
こんな取り組みを
進めています

ふくしま復興応援基金に取り組んでいます

東日本震災による福島第一原発事故から11年、いまだ避難生活を続ける方がいます。コープデリグループは、「忘れない、伝える、続ける、つなげる」を合言葉に、福島県の復興への道筋を確かなものにするために、「ふくしま復興応援基金」に継続して取り組んでいます。お預かりした募金は、福島県の子どもたちを支援する活動や、福島県での復興活動に役立てられています。

募金方法はこちら



2021年度募金額（コープデリグループ合計）
3,181万9,245円



福島県の子どもたちを各地に招待し、外遊びや自然とのふれあいを体験してもらう「福島の子ども保護プロジェクト」に募金の一部が活用されています（写真は縄なえ体験の様子）

2021年8月大雨災害支援募金に取り組みました



長野県 阿部知事（右）に募金目録を贈呈、コープながの 太田理事長に感謝状が贈られました

2021年8月、各地で記録的な大雨が続き、河川の氾濫や浸水、土砂崩れなど、甚大な被害が発生しました。コープデリグループは、一日も早く被災地域が復旧し、被災された方々が平常の生活に戻れることを願い、緊急支援募金に取り組みました。

お預かりした募金は、長野県、広島県、福岡県、佐賀県、長崎県の5県にお住まいの方々への義援金や、被災した産産地などの取引先、被災地で支援を行う団体等への支援金として活用しました。

募金額（コープデリグループ合計） 1億5,389万8,253円

災害への備えを進めています

災害に備え、行政や地域の諸団体とのネットワークを広げ、支え合える連携関係を築いています。自治体の防災訓練に参加しているほか、地域で防災・減災の学習会を開催するなど学習の機会づくりを進めています。



自治体の防災訓練に参加しています

目標 2

自治体や地域住民・諸団体と連携して、地域の人々が協力し、支え合える仕組みを強める取り組みを進めます。

地域での子育てを応援しています

子育て中の方が地域の中で、安心して楽しく子育てができる活動を進めています。子どもを遊ばせながらおしゃべりしたり、くつろぎながら交流できる「子育てひろば」を地域で開催しているほか、食育活動や生産者との交流、子どもと一緒に参加できるイベントなどに取り組んでいます。

※とちぎコープは「子育てサロン」の名称で活動しています



地域での学びの機会を広げています

小学生向けの職場見学や仕事体験、学校や公民館などに講師を派遣する出前授業などを実施しています。食や環境、防災・減災など、身近な課題に興味を持つきっかけづくりとして、楽しく学べる体験プログラムなどを通して、一人ひとりが地域や社会の課題に気付くきっかけづくりをしています。

※一部地域で実施



地域の安全を守る取り組みを進めています

地域の子どもたちの安全を守るため、希望する学校・自治体向けに「交通安全ランドセルカバー」や横断旗を寄贈しています。2022年度はランドセルカバーを765校に4万5,017枚、横断旗を626校に1,255本寄贈しました。

※2022年3月時点



コープデリでは、このほかにもさまざまな取り組みを行っています。
ホームページをチェック！



コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標11：

住み続けられるまちづくりを

につながっています。

